

「歴史地理学」投稿規定

(2016年8月11日改訂)

1. 投稿の原則

- 1) 投稿原稿は、歴史地理学および関連諸分野の未刊の原稿とする。
- 2) 投稿者は、本学会会員に限る（機関会員と賛助会員を除く）。投稿者が複数の場合、そのうち1名以上は本学会会員であることとする。ただし、編集委員会が特に認めた原稿については、この限りではない。
- 3) 投稿原稿の著作権は、最終原稿が受理された時点から本学会会長に帰属する。

2. 投稿原稿の種別

- 1) 論説：オリジナルな研究成果をまとめたもので、研究意義の大きいもの。
- 2) 展望：特定の主題に関する内外の研究を整理し、研究動向の新たな解釈や今後の研究方向に関する著者の見解を付したのもの。
- 3) 研究ノート：論説に準じる学術的価値のある研究、あるいは予察的・中間的な研究報告。
- 4) 短報：学術的価値のある資（史）料や知見・実践の報告、既発表の論文等に対する批判・議論など。
- 5) 共同課題報告：特集号に掲載する研究成果。原則として本学会の大会で共同課題として発表したもの。
- 6) シンポジウム報告：特集号に掲載する研究成果。原則として本学会の大会シンポジウムにおいて発表したもの。
- 7) 書評：新刊書の紹介・批評。単なる紹介ではなく、評者の立場から内容を詳細に検討し論評したものであること。
- 8) 文献紹介：新刊書の紹介。紹介者の意見を若干加えることもできる。

3. 原稿の長さ

図表・外国語要旨などを含めた刷り上がり頁数で、論説・展望22頁、研究ノート18頁、短報14頁、共同課題報告・シンポジウム報告16頁、書評4頁、文献紹介2頁以内とする。超過した場合は、原則として、著者が超過分の費用を負担するものとする。超過ページの負担額は、超過1頁あたり4,500円とする。

4. 投稿手続き

オリジナル原稿1部とそのコピー2部の計3部に、原稿送付状を添えて、本学会事務局気付歴史地理学会編集委員会宛に書留で送付する。ワープロ原稿の場合は、掲載決定後、印字した最終稿と図表・写真のオリジナルおよび原稿ファイルの入ったメディアを添えて提出する（ソフト名を付記すること）。事故に備えて、コピーをとっておくこと。掲載された論文などの原稿は、原則として返却しない。

5. 原稿の採否

編集委員会が依頼した査読者の意見をもとに、編集委員会で決定する。編集委員会が必要と認めた場合は、加筆・修正を著者に依頼する。細部の表現などについては、編集委員会が手を加えることがある。

6. 校正

初校は著者が行い、再校以降は編集委員会が行う。著者による校正は誤植訂正など印刷上の修正のみとする。

7. 抜刷

希望部数を原稿送付状に記入する。抜刷の費用は著者負担とする。ただし、書評、文献紹介の抜刷は作成しない。抜刷代金は100部あたり7,000円、150部あたり9,750円、200部あたり11,000円を目安とする。